

病害虫発生予察情報 9月予報 概要版 (令和8年9月7日発表)

群馬県農業技術センター (病害虫防除所)

★9月3日発表 気象の1か月予報 (気象庁発表)

平均気温は高い確率70%、降水量は多い確率50%、日照時間は少ない確率40%です。

★9月の病害虫予報 注目ポイント！！



果樹類 果樹カメムシ類 . . . 発生量：多い

フェロモントラップへの誘殺数は、6地点中5地点で平年に比べて多くなっています。
園内をこまめに見回り、早期発見・早期防除に努めましょう。



イネ イネカメムシ . . . 発生量：並

現在までの発生量は平年並です。
出穂の遅い水田で被害が集中するので注意してください。



イネ 斑点米カメムシ類 (イネカメムシを除く) . . . 発生量：並

現在までの発生量は平年並です。
イネの出穂期2週間前以降の除草は、被害に繋がりますので控えましょう。



レタス 軟腐病 . . . 発生量：やや多い

現在までの発生量は平年に比べてやや多くなっています。
降雨後、気温が高くなると発生しやすくなります。
発病後の防除効果は低いので、予防的な防除に努めてください。



ネギ 軟腐病 . . . 発生量：やや多い

降雨後に高温多湿条件が続くと発生しやすくなります。
発病後の防除効果は低いので、予防的な防除に努めてください。



ネギ シロイチモジヨトウ . . . 発生量：やや多い

フェロモントラップへの誘殺数は、2地点とも平年に比べて多くなっています。
発生量が増加しやすい気象が予報されていますので、注意してください。



野菜・花き類 オオタバコガ . . . 発生量：やや多い

フェロモントラップへの誘殺数は、7地点中4地点で平年に比べて多くなっています。
ほ場をよく見回り、幼虫を見つけしだい捕殺しましょう。

裏面へ続く ➡

【その他の病害虫】

作物名	病害虫名	発生量	特 記 事 項
作物全般	アブラムシ類	並	各種トラップ調査による有翅アブラムシの飛来数は 平年並。
イネ	いもち病 (穂いもち)	並	現在までの発生量は平年並。 葉いもちの発生量も平年並であるが、穂いもちが増 加する場合があるので注意する。
	紋枯病	並	現在までの発生量は平年並。 病斑がイネの高い位置まで上がってきた場合は、早 急に適用薬剤で防除する。
	ヒメトビウンカ	並	現在までの発生量は平年並。 イネ縞葉枯病感受性品種栽培地帯では、イネ縞葉枯 ウイルス保毒虫率を低減するため、収穫後は速やか に耕起し、ひこばえを発生させないようにする。
ダイズ	吸実性カメムシ類	並	現在までの発生量は平年並。
リンゴ	斑点落葉病	並	現在までの発生量は平年並。高温多湿条件で発生し やすく、連続した雨などの短期間の気象条件で急増 することがあるため注意する。
	スモモヒメシンクイ	並	現在までの発生量及びフェロモントラップ調査によ る誘殺数は平年並。
	キンモンホソガ	並	現在までの発生量は平年並。フェロモントラップ調 査による誘殺数は一部の地点でやや多い。
ナシ	ナシヒメシンクイ	並	現在までの発生量は平年並。フェロモントラップ調 査による誘殺数は一部の地点でやや多い。
ダイズ 野菜類 花き類	ハスモンヨトウ	並	現在までの発生量は平年並。 高温条件で発生が助長されるため注意する。
キャベツ	黒腐病	並	現在までの発生量は平年並。やや低温で降雨が多い と発生が助長されるため注意する。
	菌核病	並	現在までの発生量は平年並。 発生適温は15～20℃。多湿条件で発生が助長さ れるため注意する。
	コナガ	並	現在までの発生量は平年並。 ほ場をよく見回り、若齢幼虫のうちに防除を行う。
夏秋ナス	ハダニ類	並	現在までの発生量は一部地域でやや多いが平年並。 発生量が多くなると防除が困難になるため、早期発 見・早期防除に努める。
	アザミウマ類	並	現在までの発生量は平年並。



詳しい予報、注意報、病害虫情報はこちらから

(病害虫発生予察情報一覧へリンク)

トラップデータデータも毎週更新中！！

(<https://www.pref.gunma.jp/07/p14210015.html>)

★ 9月30日まで群馬県農薬危害防止運動を実施中です。

本年度のテーマ：「使用前、周囲よく見てラベル見て」